

重点取組名	温州ミカンの完熟栽培体系の確立普及及び省力・低コスト資材の導入
普及活動担当	八幡浜地方局 産業経済部 農政普及課 産地育成室 果樹係
主要な活動地域・	八幡浜市、大州市、西予市、伊方町
対象農業者	温州ミカン高品質化栽培志向農家 1,582戸
取組結果・成果 取組みのねらい	<p>ねらい：地域の主力品目として位置づけられている温州ミカンの高品質化を図り、光センサー選果機に対応した生産技術の普及を進める。</p> <p>1、マルチ栽培の拡大 ・平成17年度は夏季の干ばつにより被覆時期が遅延した結果、被覆面積は658.8haとなり、目標面積の96.8%となった。生産量は15,152t、生産額は28.6億円。 ・直管を利用した開閉型マルチは各種講習会等で紹介し、78.14haまで拡大した。 ・透湿型の低コスト資材については、実証圃等の結果から新たに2つの資材を選定し、JAの補助事業の対象に加えることができた。</p> <p>2、袋掛け等完熟栽培の拡大 ・樹冠上部摘果の推進と併せて完熟栽培（木成り、袋掛け）を推進した結果、生産量は3,595t（目標の378%）と大幅に増加したが、成熟期の12月に3回の積雪があり、寒害を受け、正品での出荷量は著しく減少した。 ・完熟栽培の問題点である鳥害防止対策として、防鳥網を利用したネット完熟栽培について実証圃を設置して普及させた。検討した結果、エスター線を利用した方法を確立した。設置方法について資料を作成し、関係機関、完熟生産農家に配布した。</p> <p>3、GISの活用 今年度、ハード面は整備されたため、効率的な運用に向けた検討会を開催し、データの取り込み方法等について検討した。3月末から運用開始予定。</p>
連携機関、協議会等	西宇和農業協同組合、愛媛たいき農業協同組合、東宇和農業協同組合 八幡浜地方局産地振興対策推進班
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>1、マルチ栽培 今年度は夏季の干ばつのため被覆面積が伸び悩んだ。しかしそういう状況でも被覆可能な開閉型マルチについては、高品質果が生産できたため、さらに増やす必要がある。また、小玉傾向となったため、被覆時期と方法について検討する必要がある。</p> <p>2、完熟栽培 完熟栽培を推進する上では、鳥害防止対策が一番の問題点となる。今年度、鳥害防止対策についてはある程度確立できたが、今後は異常気象に対応した完熟栽培についてさらに検討する必要がある。特に袋掛け栽培、屋根掛け栽培などを強力に推進する必要がある。</p> <p>3、GISの活用 本格運用がスタートするが、蓄積されたデータを現場にフィードバックできるよう、検討を重ねる必要がある。</p>
【参考】	